

旭区社協だより

No. 119

あさひ

共に支えられ
生きていく

いきいき宣言

共に
支えられ
生きていく
地域共生社会を目指して
横浜市旭区社会福祉協議会

共生社会の実現に向けた地域づくり

旭区では、誰もが安心して自分らしく暮らし、共に支えられ生きていける「地域共生社会」の実現に向けたさまざまな取り組みが行われています。今回は、地域住民がお互いを尊重し支え合いながら、幸せに暮らすための「福祉教育」や「旭区地域福祉保健計画」について紹介します。

●●● 小学校で「福祉教育」！ 車いす体験と障害のある方の声から学ぶ共生社会 ●●●



板宮さんによるクイズを楽しむ子どもたち



善部小学校×サポートセンター連×希望が丘南地区の 民生委員・児童委員、保健活動推進員

昨年12月6日、希望が丘南地区の民生委員・児童委員や保健活動推進員の協力のもと、善部小学校の3・4年生を対象に福祉教育が行われました。当日は、地域活動ホーム「サポートセンター連」（柏町）の利用者で障害のある板宮伸一郎さんと職員の羽田航さんが登場。板宮さんの生活を身近に感じる「出張 板Q（いたきゅー）クイズ」が行われ、子どもたちは体を持ち上げる介護用具「スリングシート」や、胃から直接栄養を摂る「胃ろう」などについて楽しみながら学びました。

車いす体験では段差が設けられたコースで、「乗る側」と「押す側」に挑戦。板宮さんが乗る車いすを押す体験もあり、子どもたちは積極的に参加しました。体験後、子どもたちからは「重そうだけど触ると意外と軽くて、見た目と違った」といった感想が聞かれました。



「普段から関わりを持ち、身近な存在に」—参加者の手ごたえ—

◆板宮さん「子どもたちは緊張していたけれど、障害のある方たちと普段から関わりを持つことはとてもいいと思います。今回のような機会があれば、また出張クイズをやりたいです」

◆羽田さん「障害のある方が身近にいる環境が必要だと思います。関わりを持つことでハードルが下がります。『何していいかわからない』という状態から、『自分たちと変わらない生活をしてるんだ』と知ってもらうだけで、全然違うはずですよ」

◆梅原さん「子どもの頃から自然に福祉を学ぶことが大事です。今回は学校という、子どもたちの生活の場に障害のある方が来てくれたことの意義がすごく大きいと感じました。『日常に来てくれる』ことで意識が変わります」



①



②



③

福祉教育の手ごたえを振り返るサポートセンター連の利用者・板宮さん①と職員の羽田さん②、希望が丘南地区民生委員・児童委員長梅原美千子さん③

第5期 計画を 策定中

●●● きらっとあさひプラン(旭区地域福祉保健計画) ●●●

「きらっとあさひプラン」は、区民が地域で支え合い安心して暮らせる社会を目指し、住民・事業者・公的機関が協働で地域の福祉課題解決を図るものです。第5期計画（令和8年度～12年度）は地域団体へのヒアリングやジュニアボランティアへのアンケートを通じ、区民の多様な意見を反映させながら、策定が進められています。

9月11日～10月19日には、第5期計画についての区民意見募集を行います。ご意見お待ちしております。



意見募集の詳細はこちら

地域福祉保健計画の策定に向けた意気込みや期待 —策定検討部会の方々にお聞きしました—



旭北地区
社会福祉協議会
事務局長
飯塚 ひろみさん

コミュニケーションが苦手な方や自ら情報を求めない方、障害のある方などへの情報周知が課題です。「困った時にどうすればいいか」が自然とわかる地域づくりを進めなければなりません。完成した地域福祉保健計画を、いかに地域の皆さまに届けるかが大切になってきます。



相鉄ホールディングス
株式会社
経営戦略室 課長
鈴木 洋光さん

相鉄グループは、二俣川や鶴ヶ峰での開発、いずみ野線沿線でのエリアマネジメントを通じて、多世代が交流し暮らしやすい街づくりを目指しています。一方で、高齢化や空き家の増加といった地域課題も認識し、これらの解決に貢献するため、計画策定に参画しています。



旭区地域
自立支援協議会
会長
新倉 朋矢さん

旭区地域自立支援協議会では、障害のある方が地域で安心して暮らせる社会を目指しています。当協議会が重視する「つながり」や「課題共有・解決」は、地域福祉保健計画の目的と共通しており、計画が浸透・発展することで、障害福祉の目標達成に繋がると期待しています。

善意銀行



善意銀行にご協力いただいた方々

ありがとうございます

<順不同・敬称略>
令和7年2月～7年6月

金品寄付

志澤 希久子、荻窪 邦昭、伊志嶺 朝之、旭区舞踊協会、小棕会、神奈川土建一般労働組合横浜西支部、あさひ茶花道協会、匿名1件

物品寄付

神奈川県理容生活衛生同業組合旭支部、ハッ橋 政彦、医療法人社団 司命堂会 介護老人保健施設 希望の森、横浜旭ジャズまつり実行委員会、一般社団法人バンクフォースマイルズ、匿名5件

善意銀行とは、皆様からの善意の寄付金品をお預かりし、旭区内の福祉施設や当事者団体、地域福祉活動団体などへ配分し、皆様の善意を広げていく事業のことです。

発行／社会福祉法人 横浜市旭区社会福祉協議会

●この広報紙は、「赤い羽根」共同募金の配分金で発行しています



ホームページ



X(旧Twitter)

〒241-0022
横浜市旭区鶴ヶ峰1-6-35
TEL:045-392-1123
FAX:045-392-0222

<https://www.palletasahi.jp/> 旭区社協

